

第 65 回総務委員会議事要録

日 時：2023 年 9 月 16 日 (土) 13:30~16:00

場 所：Web 会議

出席者：川田善正会長，ほか 14 名

1. 審議事項

- ・OPJ 2023 の開催概要等について議論された。
- ・OPJ 2024 に関する現在の検討状況などについて議論された。
- ・第 50 回冬期講習会の開催方法などについて議論された。
- ・第 49 回光学シンポジウムの実行委員会構成員について議論された。

2. 報告事項

- ・OSK-Optica-OSJ Joint Symposia on Optics 参加報告
- ・EOS Annual Meeting 参加報告
- ・「光学」, 「Optical Review」の現況について
- ・会員情報について

第 50 回冬期講習会「光を用いた非破壊イメージング」

期 日：2024 年 1 月 25 日 (木), 26 日 (金)

開催形態：オンライン開催

主 催：日本光学会

共 催：応用物理学学会フォトニクス分科会

参加登録：冬期講習会 HP (http://myosj.or.jp/winter_symp/winter_symp2024/) から登録

申込期限：2024 年 1 月 11 日 (木)

プログラム, 参加費等の詳細は学会 HP をご参照ください。

問合せ先 (申込)：日本光学会事務局

E-mail info@myosj.or.jp

問合せ先 (内容)：実行委員長 吉川宣一 (鳥取大学)

E-mail ws2024@myosj.or.jp

フォトニックコンピューティングに関する第 1 回国際シンポジウム The First International Symposium on Photonic Computing

本学術変革領域研究は，光の極限性能を生かし，光科学技術と情報科学技術を高度に融合したフォトニックコンピューティングの創成を目指します。本シンポジウムでは，領域の概要と最新の成果をご紹介しますとともに，海外

および国内でご活躍されているこの分野の著名な先生方をお招きし，最新のトピックスをお話ししていただきます。

日 程：2024 年 3 月 11 日 (月), 12 日 (火)

会 場：東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール (東京都文京区本郷 7-3-1)

*現地開催とオンライン聴講 (Zoom 配信) によるハイブリッド形式

主 催：日本学術振興会 学術変革領域研究 (A) 「光の極限性能を生かすフォトニックコンピューティングの創成」

協 賛：日本光学会, 電子情報通信学会, 応用物理学会

参加費：無料

参加申込：下記 URL からお申込みください。

https://www.photoniccomputing.jp/activities/2024_03_11_symposium.php

申込期限：現地参加：2024 年 3 月 7 日 (木) (希望者が会場定員に達した時点で締切。以降の申込みはオンライン聴講), オンライン聴講：当日

問合せ先：総括班事務局

E-mail photoniccomputing-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

JOEM 技術講座「図解による顕微鏡入門」

日 時：2024 年 2 月 15 日 (木) 10:00~16:55 (新型コロナウイルス感染症の状況または対面希望者数によりオンラインへの切替可能性あり)

場 所：ハイブリッド形式 (対面+オンライン)。対面は機械振興会館別館 4 階, オンラインは Microsoft Teams 使用。

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：日本光学会, 日本生物物理学会, 日本組織細胞化学会ほか

参加費：協賛 33,660 円 (テキスト・消費税含む)

定 員：25 名 (うち対面は先着順 10 名, 対面/オンラインは申込時に選択)

申込期限：2024 年 2 月 5 日 (月) 定員になり次第締切

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 news の掲載申込先：

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@mysj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 news 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日（10日）から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第51巻第11号（2023年11月号）目次

「ノーベル賞をもたらしたレーザー科学技術」解説小特集号

レーザーコンパス

ひらめき☆ときめきサイエンス

—高校生のための固体レーザー製作講座— …… 川戸 栄 (671)

《解説小特集》

レーザー解説

「ノーベル賞をもたらしたレーザー科学技術」解説小特集号によせて …… 小野篤史, 川田善正 (673)

超高強度・超短光パルスの発生方法の開発

(2018年ノーベル物理学賞) …… 杉田篤史 (675)

高効率青色発光ダイオードの発明から学んだ教訓

(2014年ノーベル物理学賞) …… 森 勇介 (680)

光コムって、何？ (2005年ノーベル物理学賞)

…………… 安井武史 (684)

LIGO 検出器および重力波の観測への決定的な貢献

(2017年ノーベル物理学賞) …… 三尾典克 (689)

C. K. カオのこと、志を共にした人々のこと

(2009年ノーベル物理学賞) …… 川上彰二郎 (694)

半導体ヘテロ構造の開発 —半導体レーザーの室温連続発振への

道程— (2000年ノーベル物理学賞) …… 荒川泰彦 (701)

光ピンセットの開発と生体システムへの応用

(2018年ノーベル物理学賞) …… 杉浦忠男 (708)

創立50周年特別

レーザーフラッシュ

光記録とホログラフィー …… 志村 努 (712)

レーザーフラッシュ

レーザー学会産業賞を受賞して—レーザー安全のための

保護製品と啓発活動の充実— …… 加尻慎也 (716)

第30回レーザー夏の学校 開催報告 …… 竹内 楓 (719)

第12回アジア・パシフィックレーザーシンポジウム (APLS)

2023 報告 …… 神成文彦 (722)

著者紹介

(725)

セルフフォーカス

(727)

「応用物理」第93巻第1号（2024年1月号）予定目次

解説

社会課題解決に貢献する次世代放射光施設ナノテラス

…………… 高田昌樹

ハフニウム系強誘電体薄膜の不揮発性メモリトランジスタ応用

…………… 大見俊一郎

最近の展望

量子コンピュータを用いた機械学習 …… 御手洗光祐

研究紹介

化合物半導体ナノワイヤの新材料開拓 …… 石川史太郎

分子軌道混成による高移動度有機半導体の創製のための最先端

分子技術 …… 岡本敏宏

CMOS イメージセンサ向け界面準位低減効果を有する新たな

機能性シリコンウェーハの研究 …… 奥山亮輔

基礎講座

安価な量子計測のための+αの研究技術——ローエンドFPGAを

用いたダイヤモンド中NVセンタの量子計測 …… 谷井孝至

ホットとひといき

広く浅く、でも軸はブレず——企業における私のキャリア形成

…………… 三浦 薫

リハビリテーション医療におけるデジタルトランスフォーメーション

…………… 和田義敬, 大高洋平

書評

Python, TensorFlow で実践する深層学習入門——しくみの理解と

応用 (J. Krohn 著) …… 野村晶代

Science As Art

結晶構造早見表 …… 服部太政

一般社団法人日本光学会 賛助会員

2023年11月10日現在の国会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、国会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

株式会社朝日ラバー	株式会社タムロン
株式会社彩世	チームオプト株式会社
アンシス・ジャパン株式会社	中央精機株式会社
ウシオ電機株式会社	天進技術株式会社
株式会社 AAC Technologies Japan R&D Center	株式会社東芝
株式会社エクモス	株式会社東精エンジニアリング
株式会社エビデント	株式会社トプコン
株式会社エンプラス研究所	株式会社ナック イメージテクノロジー
オーウェル株式会社	株式会社ニコン
オプトシリウス株式会社	株式会社ニデック
株式会社オプトロニクス社	一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
オリンパス株式会社	日本シノプシス合同会社
キヤノン株式会社	日本真空光学株式会社
京セラ SOC 株式会社	パナソニックホールディングス株式会社
株式会社清原光学	浜松ホトニクス株式会社
株式会社光学技研	株式会社日立製作所
興和株式会社	華為技術日本株式会社
株式会社五藤光学研究所	Phase One Japan 株式会社
コニカミノルタ株式会社	富士フイルム株式会社
株式会社三恵舎	古野電気株式会社
株式会社シグマ	三菱ケミカル株式会社
株式会社スカイテクノロジー	株式会社リコー
ソーラボジャパン株式会社	

以上 会員数 45 社, 61 口 (五十音順)
